

穂別の化石を「むかわ竜」とするのを正す

二ニュース
第7号

「むかわ竜」の根拠は、嘘といい加減な作り話だった」と明らかに！
穂別で「むかわ穂別竜」に！との声広がっています

3029筆の署名をはじめとする多くのみなさんの思いと声になり、「むかわ竜」の通称を変える状況が広がっています。第1は道内の主なマスコミが、「むかわ竜」に反対する声が軽視できない重要な世論になっているとして報道し始めたことです。第2は、穂別の人たちから「むかわ穂別竜」と、名称についての対

案が出されたことです。第3は、町の町民への説明が、嘘といい加減な作り話だったことがハッキリしたことです。第4は、町がこの問題で記者会見を行なわざるを得なくなり、その場で（嘘であっても）、「新聞やテレビで報道されれば認知される」とのとてもない発言を町長がしていることです。

1、マスコミが報道を始め、町長もやむを得ず記者会見に

5月22日に苦小牧民報が報道したのをはじめ、29日に北海道新聞と苦小牧民報、HTBテレビが報道しました。6月1日にも朝日新聞が報道し、HTBテレビは5分間の特集を組んで放映しました。さらに、7月18日には苦小牧民報、8月8日HTBテレビ、HBCテレビ、STVテレビが報道し、翌9日には北海道新聞と

苦小牧民報が報道しました。今まで、反対の意見を一切無視していた町も、通称が問題になってくることをマスコミの前で話さなければならなくなってきました。恐竜化石の名称問題がいよいよ公の論議の場にあがりました。

2、穂別の人たちから「むかわ穂別竜」に！との対案が出され賛同の署名が進んでいます

3月頃から「むかわ竜（総称）」を考える穂別の会が議員の人たちへの質問状を出したりするなどの行動を始め、その会の人たちが中心になって、6月には「通称名をむかわ穂別竜に変える会」が穂別につくられま

した。この会が、7月から「穂別で発掘された恐竜化石の呼び名を『むかわ穂別竜』に変更するよう求める」住民署名を始めました。「むかわ竜」をどう変えるかの対案が穂別の人たちから出されたことは重要です。

3、町の町民への説明が、「嘘」といい加減な作り話だったことがハッキリした

私たちの会は、昨年12月と今年1月、3月のニュースで町が町民の方々に言っている説明が「間違った事実を挙げている」と指摘しましたが、町は何らの対応も示さずにいました。そこで、5月28日に署名を提出したとき、マスコミの方々が居る前で、町長に「間違いが指摘されたら、しっかりと対応するのが町民の方々への責任です」と指摘し、9項目の公開質問状を渡しました。しかし、公開質問状にも何ら対応をしないので、7月7日には、町長に「公開質問状に、40日も経って何の音

沙汰もないということは、町が町民の方々を嘘といい加減な作り話でごまかしていたことになりそうです」と文書で伝えましたが、そのことにもいまだに音沙汰がありません。そればかりか、8月8日には、会には何の連絡もなく、マスコミに「会の公開質問状に回答する記者会見を行なう」と伝えて記者会見を行ないましたが、それでも公開質問状の9項目の質問には一つも回答しませんでした。

4、「嘘でも、マスコミで全国に知られれば認められることになる」とー

記者会見でのとんでもない町長発言

報道によると、町長は記者会見で「新聞やテレビで報道され、すでに全国的に認知されているから」と言ったとのこと。本来、まともな社会なら、「間違っている」と指摘されたらすぐに調べて、正しかったら指摘した人にその旨知らせる。間違っていたなら、そのような間違いを発信した相手—今回の場合は町民の方々にその旨知らせ、お詫びをするのが常識です。

はならないことが起きたのか」の原因を究明して再発防止策を明確にして論議をすすめる。これが、あたりまえの行政です。

しかし、町長が言っていることは、「嘘でも良いから言い続けければ、新聞やテレビ等も含めて、みんなが嘘と知らずに思い込み、時間が経てば、嘘が通るようになる。それで良いんだ」と言うことです。これでは、いい加減な行政がどんどん繰り返されて行くだけです。

多数の方々の声が広がり、「むかわ竜」の名が通用しない状況が広がっています いよいよ恐竜化石の通称を変える本格的な取り組みに入ります

町長は、町民の方々と誠実に向き合い、正直に話し合おうべきです

【裏面もご覧ください】

町外から化石の里ほべつを応援する穂別出身者の会 (略称：化石の里ほべつを応援する会)

2018年8月31日
連絡先：☎・FAX 011-385-8368 田中弓夫

署名を求めるときは、署名を始める

3月に「ニュース6号」を発行して以来の「ニュース7号」の発行です。5月から様々な動きがあり、「どこかの時点で区切って発行を」と考えていましたが、とりあえず7月末で区切って発行し、8月と9月の動きについては10月初めのニュースで紹介し

みなさんの署名などの声がマスコミと町を動かしました（4月～7月の動き）

- 5月19日 苫小牧民報社の取材を受けました。
- 22日 苫小牧民報に記事が掲載されました（同封しました）
- 26日 町と議会に提出する署名をまとめました。署名は、道内72市町村（むかわ町以外）と18都府県、タイ国から3029筆が寄せられました。
- 28日 むかわ町長と町議会議長に署名を渡し、町長には公開質問状を、議長には要請書を渡しました。その後、別室で、マスコミ各社の取材を受けました。
- 29日 苫小牧民報と北海道新聞、HTBテレビが報道しました。苫小牧民報と北海道新聞の記事は同封しました。
- 30日 HTBテレビの取材を受けました。
- 6月1日 HTBテレビが夕方の「特オシ」番組で5分程度の特集を報道しました。
- 6月1日 朝日新聞が報道しました。（同封しました）
- 7月7日 化石の里ほべつを応援する会役員会を行いました
- 上旬 穂別で作られた「通称名をむかわ穂別竜に変える会」の署名行動が始まりました。
- 13日 むかわ町長宛の文書を送りました。（同封しました）
- 19日 苫小牧市役所記者クラブで記者会見を行いました。
- 22日 穂別地区の町民との懇談会を行いました。
- 終了後、「通称名をむかわ穂別竜に変える会」の役員と懇談しました。
- 8月1日 むかわ町議会議員全員に文書を送り、記者会見の報告文書と関連資料を同封しました。

*8月の動きについては、次のニュースで紹介します。

7月19日の記者会見で述べた中心点を紹介します

記者会見では、「マスコミの方々が注目して、取材や報道をしていただいたこともあって、取り組みはじめた時にはわからなかった、重大な問題が明らかになりました。」として、次の4つの問題を明らかにしました。

第1の問題 「むかわ竜」の名は町が決めたのに、町は「発見者の堀田良幸さんが決めた」と思わせるような発表をしていました。しかし、「発見者が決めたのでなく、町が決めた」ことが町民にわかりはじめたので、町はいよいよ加減な作り話の説明で町民の方々をごまかそうとしてきたことが明らかになりました。

第2の問題 町は「発見者の堀田さんの意向だ」と説明していますが、堀田さんが「穂別で発掘されたことがわかるようにして欲しい」と言っていたことは隠し続けました。肝心なことを隠す嘘の説明を続けて来たことが明らかになったのです。

第3の問題 「穂別の人たちがつくってきた地域性（化石文化と風土）」と、「いち早く全国でも珍しい化石博物館を作り、『森と化石とロマンの里』つくりをすすめた旧穂別町の行政」が、恐竜化石の発掘に結びついたのですが、「むかわ竜にする」とした人たちは、発表前に穂別の関係者や研究者からこれらのことについて意見を聞いていません。

また、これらのことに対する言及もまったくありません。

第4の問題 町はこの会見（7月19日）までに4度町民に説明文書を出していますが、文書が出るたびに、「むかわ竜」にした理由が変わり、説明文の文言さえ違います。（下段の囲みで紹介しています）

記者会見では、以上のことを詳しく説明したうえで、次のように述べました。

町は役場のごく僅かな人達で「通称を『むかわ竜』とする」と内々に話し合っ「決まった」ように発表したのです。そうして、以上述べたような、嘘といひ加減な作り話で町民の方々をごまかし、意見や疑問を押さえ、「むかわ竜」の名を押しつけてきたのです。

私たちの会は、このような異常なやり方で使われている通称の中止を求めます。そうして、穂別の人たちから出されている「むかわ穂別竜」の名も含めて、公正な機関で公開で論議し、全会一致で決めるよう求めます。

そうして、そのための新しい署名に取り組みます。

クルクルと変わる町のいい加減な説明

町は、「むかわ竜」とした根拠や理由を、5月迄に文書で4回説明しています。その根拠と理由が嘘といひ加減なものだったことは、すでに町も認めています。そればかりか、下記のように、4回の説明文書で使う言葉もクルクル変わっています。このことは、役場のごく少数の人たちが内々に相談して、「むかわ竜」とすることを話し合っただけで決まったことにし、「なぜむかわ竜にするのか」のまともな文書が存在しないことを示しています。

	発見者との関係	通称について	総称について	町名を使った根拠	新しい町の記念に
1回目の説明	発見者の意向を踏まえ	通称をむかわ竜とする	町内産恐竜の総称として	なし	なし
2回目の説明	発見者の意向を考慮しつつ	通常の呼び名(通称)をむかわ竜とする	恐竜群全般の名称(総称も)	自治体名がつけられていることが多い	なし
3回目の説明	発見者の意向を尊重する	名称(通常の呼び名・和名)をむかわ竜とする	なし	市町村名を冠した呼び名(和名)としているところが多く	新町誕生10周年の記念の宝に
4回目の説明	発見者の意向に沿った	呼び名をむかわ竜とする	なし	なし	なし
こんなにいい加減なのです	発見者の思いをどのように考えたのかも一貫してません	最初に使った「通称」との文言さえ、あとの説明では使われなくなります	総称との文言は使われなくなりました。	2回目で突然使われ4回目では使われなくなります	3回目だけ突然使われます。

署名用紙は同封しましたが更に必要な方は連絡をください。自分でコピーしてもかまいません。なお、裏面に前回の署名文を印刷しています。署名の集約は毎月末に行いますが、まずは10月末に最初の集約を行います。

*署名用紙や呼びかけ文、ニュースが必要な方は、電話などで連絡ください。自分でコピーしてもかまいません。

「むかわ竜の通称中止」と「穂別の人たちが納得できる公正な論議で通称を決める」